

はじめに

本書に取り組むと、次のような英文を正確に読めて日本語に訳せるようになります。

The notion that religion is a force produced by cultural evolution, and that it primarily exists to produce functional benefits to individuals and groups can explain why religions are *in decline* in some parts of the world. As human societies created nations, and devised mechanisms for self-governance, the gods who were so effective at enforcing group norms and ethical behavior through punishment were no longer as necessary. (大阪大)

(この文章の解説は p.104 ~ 105 にあります)

難しそうに感じるかもしれませんが、実は、ある2つのポイントを押さえればそこまで厄介な問題ではありません。その2つのポイントとは

1. 主語・述語（動詞）の把握
2. 句・節の分析

です。逆に言うと、この2ポイントを外すと試験で大量失点につながってしまいます。非常に重要なポイントです。

1については前著『英文読解入門 10 題ドリル』で扱っています。今回の『英文読解基礎 10 題ドリル』では2を徹底的に特訓します。

「英文読解 10 題ドリル」シリーズに熱心に取り組み、あとは単語・熟語を覚えてもらえれば、先ほどのような英文でもスラスラ読めるようになることをお約束します。

本書の執筆にあたり、伊藤和夫先生や表三郎先生など偉大な先輩講師のご著書を多数参考にしました。また、同時代を生きる先生方のご著書からも学ばせていただきました。ですがそれ以上に、私の約四半世紀にわたる指導歴の中で出会ってくれた学生の皆さんから本当に多くのことを教わりました。本書はそれらの結晶です。心から感謝申し上げます。また、執筆中、A・Kさん、A・Rさん、H・Yさん、I・Kさん、I・Mさん、N・Aさん、N・Iさん、O・Kさんには精神的に支えていただきました。いつもありがとうございます。

2025 年 3 月 24 日

田中 健一

本書の使い方

各講の例文と解説をしっかりと読んでから、
“EXERCISES”に進んでください。

“EXERCISES”を解いていて難しく感じるようであれば、例文と解説をちらちら見ながら解いても結構です。

その講に関する部分は赤の記号、それ以外の文の要素は黒の記号で示しています。

解答・解説も同様です

EXERCISES A を解き終わったら、答え合わせをしてから EXERCISES B に進んでください。

EXERCISES B はすべて、入試問題を元にした問題です。

EXERCISES A は例文を問題にしたものと、オリジナル問題です。

難しめの単語には語句注がつけてあります。

遠慮しないでどんどん見てくれて構いません。

第1講 ◆「情」と「態」を分析しよう

EXERCISES A

EXERCISES B

本書では、まずは型どおりに訳すこと、つまり正確に「直訳」できるようになることを目指しています。よって、正解として提示した訳例は不自然にならない程度の直訳にしています。

型にはめた訳ができるようになってから、より自然な和訳を目指した勉強に進んでください。いわゆる「守破離」の「守」が『英文読解基礎10題ドリル』の目標です。

正解していたら赤ペンで大きくマルをつけて心の中で（やったね！）と叫ぶと、初めはピンと来なかった英文読解のことが知らないうちに大好きになっていきます。楽しみながら英文読解の勉強を進めていきましょう。

目 次

基礎講義①～④	6
---------------	---

第1章 「句」と「節」を分析しよう

第1講	前置詞＋名詞①	12
第2講	前置詞＋名詞②	16
第3講	副詞節①	20
第4講	to 不定詞①（名詞的用法）	24
第5講	to 不定詞②（形容詞的用法）	28
第6講	to 不定詞③（副詞的用法）	32
第7講	動名詞	36
第8講	分詞	40
第9講	名詞節①	44
第10講	名詞節②	48
第11講	関係詞節①	52
第12講	関係詞節②	56
第13講	副詞節②	60
第14講	it の構文①	64
第15講	it の構文②	68

第2章 総合問題

総合問題①	74
総合問題②	76
総合問題③	78
総合問題④	80
総合問題⑤	82
総合問題⑥	84
総合問題⑦	86
総合問題⑧	88
総合問題⑨	90
総合問題⑩	92
総合問題⑪	94
総合問題⑫	96
総合問題⑬	98
総合問題⑭	100
総合問題⑮	102

基礎講義① 品詞の基礎知識

まずは英文の構造を把握するために特に重要な品詞である「名詞」「形容詞」「副詞」の基本事項を整理しましょう。

名詞は文中で「主語」「補語」「動詞の目的語」「前置詞の目的語」のいずれかのはたらきをするのが原則です。

①	Cats are cute.	猫はかわいい。	《主語》
②	Mr. Mikoshiba is a lawyer.	ミコシバ氏は弁護士だ。	《補語》
③	We named the cat Kuro.	私たちはその猫をクロと名づけた。	《補語》
④	We should read books.	私たちは本を読むべきだ。	《動詞の目的語》
⑤	My parents live with a cat.	私の両親は猫と暮らしている。	《前置詞の目的語》

形容詞は文中で「名詞修飾」「補語」のいずれかのはたらきをします。

①	a kind woman	親切な女性	《名詞修飾》
②	a report full of errors	間違いだらけの報告書	《名詞修飾》
③	My wife is beautiful.	私の妻は美しい。	《補語》
④	The news made us happy.	その知らせは私たちを喜ばせた。	《補語》

副詞は文中で「動詞修飾」「形容詞修飾」「副詞修飾」「文修飾」のいずれかのはたらきをします。

①	Sakura sings happily.	サクラは楽しそうに歌う。	《動詞修飾》
②	I am really busy.	私は本当に忙しい。	《形容詞修飾》
③	Tortoises walk very slowly.	カメはとてもゆっくり歩く。	《副詞修飾》
④	Surprisingly, he cried.	驚くべきことに、彼は泣いた。	《文修飾》

基礎講義② 主語・述語の把握

英文読解の第一歩は《主語 + 述語（動詞）》の把握です。主語は原則、最初に登場する、前置詞が
ついていない名詞です。また、述語（動詞）はふつう、主語の直後にありますが、主語と述語（動詞）
のあいだに修飾語が入る場合もあります。

- | | |
|--|----------------------|
| ① <u>Pandas</u> <u>eat</u> bamboo. | パンダは竹を食べる。 |
| ② In Japan, <u>cars</u> <u>drive</u> on the left. | 日本では車は左側を走る。 |
| ③ <u>The cat</u> (on the sofa) <u>looks</u> sleepy. | (その) ソファーの上の猫は眠そうだ。 |
| ④ <u>The man</u> (dancing over there) <u>is</u> my father. | 向こうで踊っている男性は私の父だ。 |
| ⑤ <u>The woman</u> (who lives here) <u>keeps</u> a monkey. | ここに住んでいる女性は猿を飼っている。 |
| ⑥ <u>We</u> <often> <u>go</u> to the theater. | 私たちはしばしば(その) 劇場に行く。 |
| ⑦ <u>Airi</u> , <in fact>, <u>realized</u> her dream. | 実際、アイリは(彼女の) 夢を実現した。 |

名詞句や名詞節が主語になる場合もあります。「句」とは《主語 + 述語（動詞）》を含まない意味の
かたまりのことで、「節」とは《主語 + 述語（動詞）》を含む意味のかたまりのことです。

- | | |
|--|----------------------|
| ① <u>To think deeply</u> <u>is</u> important. | 深く考えることは重要だ。 |
| ② <u>Watching soccer</u> <u>is</u> fun. | サッカーを見るのは楽しい。 |
| ③ <u>That the earth is round</u> <u>is</u> evident. | 地球が丸いのは明らかだ。 |
| ④ <u>Who stole my bike</u> <u>remains</u> a mystery. | 誰が私の自転車を盗んだのかは謎のままだ。 |
| ⑤ <u>What he says</u> <u>irritates</u> me. | 彼が言うことは私をいらいらさせる。 |

ここで「文の主要素」をまとめておきます。上で学んだ「主語」「述語」以外に「補語」「目的語」
があります。

主語 (Subject)	「何がどうする」「何がどんなだ」「何が何だ」の「何が」の部分。英語を日本語に訳す際は主語に「は／が」をつけるのが大原則。
述語動詞 (Verb)	「何がどうする」「何がどんなだ」「何が何だ」の「どうする」「どんなだ」「何だ」の中心部分。主語の動作や状態を表す。
補語 (Complement)	主語や目的語が何であるのかを説明する。「～は…だ」「～を…にする」「～を…だと思う」などの「…」の部分。
目的語 (Object)	動詞の表す行為の対象を示す。また、《前置詞 + 名詞》の名詞を「前置詞の目的語」と呼ぶ。

基礎講義③ 文型の基礎知識

英語は語順で意味が決まる言語であり、その語順の中で特に重要なパターンを「文型」と呼びます。

1. SV (主語 + 述語(動詞))

第1文型 SV の基本訳は「**SはVする**」です。主語になれる品詞は名詞です。

Ayuka laughs <loudly>.

アユカは大声で笑う。

2. SVC (主語 + 述語(動詞) + 補語)

第2文型 SVC の基本訳は「**SはCである／Cになる**」です。余裕があれば「**SはCのようだ**」「**SはCのまま**」も覚えてください。補語になれる品詞は名詞または形容詞です。

Jun and Rei are twins.

ジュンとレイは双子だ。(名詞が補語)

Yune's smile is charming.

ユウネの笑顔は魅力的だ。(形容詞が補語)

3. SVO (主語 + 述語(動詞) + 目的語)

第3文型 SVO の基本訳は「**SはOをVする**」です。動詞によっては「**SはOにVする**」「**SはOとVする**」などと訳す場合もあります。目的語になれる品詞は名詞です。

Kimie wrote a letter.

キミエは手紙を書いた。

4. SVO₁O₂ (主語 + 述語(動詞) + 間接目的語 + 直接目的語)

第4文型 SVO₁O₂ の基本訳は「**SはO₁にO₂を与える**」です。

He gave the boy his hat.

彼はその少年に帽子をあげた。

5. SVOC (主語 + 述語(動詞) + 目的語 + 補語)

第5文型 SVOC の基本訳は「**SはOをCにする**」と「**SはOをCだと言う**」です。

The news made us excited.

その知らせは私たちを興奮させた。

I find this novel a masterpiece.

この小説は傑作だと思う。

基礎講義④ 句と節

2語以上の意味のかたまりを「句」または「節」と呼びます。「句」は《S+V》を含まない意味のかたまりで、「節」は《S+V》を含む意味のかたまりです。「句」と「節」は文中でのはたらしきによって次のように分類されます。

(例)

名詞句	Miyu likes <u>watching soccer</u> .	ミユはサッカーを見るのが好きだ。
形容詞句	Give me something <u>to eat</u> .	私に食べるものをください。
副詞句	Izumi comes <u>from Osaka</u> .	イズミは大阪出身だ。
名詞節	Do you know <u>that he is a vet</u> ?	彼が獣医であることを知っていますか。
形容詞節	I have a friend <u>who is a sociologist</u> .	私には社会学者である友人がいる。
副詞節	I lived in Osaka <u>when I was young</u> .	私は若いとき、大阪に住んでいた。

「名詞節」「形容詞節」「副詞節」のことを「従属節」と呼ぶことがあります。これに対して文の中心になっている節を「主節」と呼びます。

I believe that Miki can run a full marathon.

主節

従属節

私はミキがフルマラソンを走れることを信じている。

●本書で用いる英文構造分析の記号は次の通りです●

主語 (S)

動詞 (V)

補語 (C)

目的語 (O)

間接目的語 (O₁) 直接目的語 (O₂)

[名詞的要素]

(形容詞的要素)

〈副詞的要素〉

意味上の主語

●品詞一覧●

名 詞 (名)	人やもの・ことの名前を表す。 (例) cat, New York, book, soccer
代名詞 (代)	名詞の代わりをする。 (例) I, he, she, this, one
動 詞 (動)	主語の動作や状態を表す。 (例) be, have, come, buy
助動詞 (助)	動詞とともに用い、話し手の判断等を表す。 (例) will, can, should, must
形容詞 (形)	名詞の性質や状態などを説明する。 (例) small, easy, happy, many
副 詞 (副)	動詞、形容詞、副詞、文全体を修飾する。 (例) today, here, very, often
前置詞 (前)	前+名で形容詞句か副詞句をつくる。 (例) about, by, in, of
接続詞 (接)	語と語、句と句、節と節をつなげる。 (例) and, but, if, when
間投詞 (間)	喜怒哀楽や呼びかけなどを表す。 (例) ah, hey, please, well

●本書で用いている記号一覧●

S	主語
V	動詞
O	目的語
C	補語
Vp.p.	動詞の過去分詞
(V)ing	動名詞あるいは現在分詞
(V)原形	原形不定詞
... / ~	省略記号

第 1 章

「句」と「節」を分析しよう



第1講 前置詞＋名詞 ①

《前置詞＋名詞》は文中で副詞または形容詞のはたらきをします。今回は前者のパターンを特訓します。

例文
1

Sayaka lives <in Nagoya> <with two cats>.

サヤカは2匹の猫と一緒に名古屋に住んでいる。

live 動「住んでいる」

point まずは基本的な前置詞として in, on, at, to, from, by, with, of, for を覚えてください。この文では文末にある in Nagoya と with two cats が副詞のはたらきをしています。

例文
2

<In this museum>, **we** can learn <about American culture>.

この博物館で、私たちはアメリカ文化について学ぶことができます。

muséum 図「博物館」 learn 動「学ぶ」 culture 図「文化」

point 文頭にある In this museum が副詞のはたらきをしています。また、文末にある about American culture も副詞のはたらきをしています。

例文
3

Sakura is very interested <in world soccer>.

サクラは世界のサッカーにとっても興味を持っている。

interested 図「興味を持っている」

point interested in A 「Aに興味を持っている」や proud of A 「Aを誇りに思う」のように、形容詞と合わせて熟語として覚えておくべき《前置詞＋名詞》もあります。

例文
4

This website provides me <with useful information>.

このウェブサイトは私に有益な情報を提供してくれる。

useful 図「有益な」 information 図「情報」

point wait for A 「Aを待つ」や provide A with B 「AにBを提供する」のように、動詞と合わせて熟語としておくべき《前置詞＋名詞》もあります。

例文
5

Himeka parked her bike <in front of the café>.

ヒメカはカフェの前に(彼女の)自転車をとめた。

park 動「～を駐車する」 bike 図「自転車」 café 図「カフェ」

point in front of A 「Aの前に」や because of A ≡ due to A 「Aが原因で」, thanks to A 「Aのおかげで」, out of A 「Aの中から外へ」, in spite of A 「Aにもかかわらず」, according to A 「Aによれば」のように、2語以上の単語が集まって1つの前置詞のはたらきをするものがあります。

EXERCISES A

副詞のはたらきをしている《前置詞＋名詞》を〈 〉でくくり、英文を日本語に訳しましょう。

1

- (1) Sayaka lives in Nagoya with two cats.

.....

- (2) In this museum, we can learn about American culture.

.....

- (3) Sakura is very interested in world soccer.

.....

- (4) This website provides me with useful information.

.....

- (5) Himeka parked her bike in front of the café.

.....

2

- (1) We study at the local library after school.

.....

- (2) After lunch, Takao goes to the gym for muscle training.

.....

- (3) Everyone is proud of your effort and sure of your future success.

.....

- (4) You must arrive at the theater by noon.

.....

- (5) Thanks to your support, I was able to pass the exam.

.....

(1) local 名「地元の」 library 名「図書館」

(2) gym 名「ジム」 muscle 名「筋肉」 training 名「トレーニング」

(3) effort 名「努力」 sure of A 形「A を確信している」 success 名「成功」

(4) arrive 動「到着する」 theater 名「劇場」 noon 名「正午」

(5) support 名「支援、支持」 pass 動「～に合格する」 exam 名「試験」 be able to (V) 原形 動「V することができる」

第2講 前置詞＋名詞②

《前置詞＋名詞》は文中で副詞または形容詞のはたらきをします。今回は後者のパターンを特訓します。

例文 1

Sadao wrote an excellent book (about English grammar).

サダオは英文法についての非常に優れた本を書いた。

excellent 図「非常に優れた」 grammar 図「文法」

point about English grammar が前の名詞 an excellent book を修飾しています。《前置詞＋名詞》が名詞を修飾するときは必ず前の名詞を修飾します。

例文 2

People (in this village) are very friendly (to visitors).

この村の人々は訪問者に対してとても友好的だ。

village 図「村」 friendly 図「友好的な、人なつこい」 visitor 図「訪問者」

point in this village が前の名詞 People を修飾しています。In this village(,) people are very friendly. であれば、In this village は副詞のはたらきです（「この村では、人々はとても友好的だ」）。

例文 3

I (often) go (to the Indian restaurant (near the station)).

私は(その) 駅の近くのインド料理店によく行く。

often 圖「よく、しばしば」 Indian 図「インドの」

point near the station が前の名詞 the Indian restaurant を修飾しています。

例文 4

The discovery (of penicillin) (by Fleming) saved many lives.

フレミングによるペニシリンの発見は多くの命を救った。

discovery 図「発見」 save 圖「～を救う」 life 図「命、生命（複数形 lives）」

point of penicillin と by Fleming は前の名詞 The discovery を修飾しています。by Fleming が修飾するのは直前の名詞 penicillin ではなく The discovery であることに注意してください。

例文 5

Your opinion (on gender) is (behind the times).

ジェンダーに関するあなたの意見は時代遅れだ。

opinion 図「意見」 gender 図「ジェンダー、性」

point on gender は前の名詞 Your opinion を修飾していて、behind the times 「時代遅れで」は補語になっています。補語になる《前置詞＋名詞》は beyond description 「言葉では表せない」や to the point 「適切な、的を射た」などの熟語的なものが中心です。

EXERCISES A

形容詞のはたらきをしている《前置詞＋名詞》を（ ）でくくり、英文を日本語に訳しましょう。

1

- (1) Sadao wrote an excellent book about English grammar.

.....

- (2) People in this village are very friendly to visitors.

.....

- (3) I often go to the Indian restaurant near the station.

.....

- (4) The discovery of penicillin by Fleming saved many lives.

.....

- (5) Your opinion on gender is behind the times.

.....

2

- (1) I keep a cat with long hair as a companion animal.

.....

- (2) The contents of this book are very similar to my blog.

.....

- (3) Minoru talked to us about the history of sugar.

.....

- (4) I am reading an article about the theory of evolution by Darwin.

.....

- (5) This tower looks like a huge white candle.

.....

(1) *compañion animal* 名「伴侶動物、コンパニオンアニマル」

(2) *content* 名「内容、中身」 *similar* 形「似ている」 *blog* 名「ブログ」

(3) *talk* 動「話す」 *history* 名「歴史」 *sugar* 名「砂糖」

(4) *article* 名「記事」 *theory* 名「理論」 *evolution* 名「進化」

(5) *tower* 名「塔」 *huge* 形「巨大な、莫大な」 *white* 形「白い」 *candle* 名「ろうそく」

第3講 副詞節①

今回は副詞節を導く従属接続詞のうち基本的なものを学習します。

例文
1

〈When I was a college student〉, I majored 〈in history〉.

大学生のとき、私は歴史を専攻していた。

máior in A ㊦「Aを専攻する」 history ㊦「歴史」

point 文頭の When I was a college student が副詞節です。副詞節は I majored in history 〈when I was a college student〉. のように文末に来ることもあります。

例文
2

〈If the weather improves tomorrow〉, we can walk our dogs.

明日天気が良くなれば、私たちは(うちの)犬を散歩させることができる。

wéather ㊦「天気、天候」 improve ㊦「良くなる」 walk ㊦「～を散歩させる」

point 時・条件の副詞節では未来の内容でも助動詞 will は用いず、現在時制を使います。

例文
3

I left school 〈early〉 〈yesterday〉 〈because I had a slight fever〉.

(私が)昨日学校を早退したのは、(私が)微熱があったからだ。

éarly ㊦「早く」 slight ㊦「わずかな」 féver ㊦「熱、発熱」

point 「私は微熱があったので昨日学校を早退した」のように訳しても構いませんが、because 節が文末にあるときは上の訳例のように前から訳すことをおすすめします。

例文
4

〈Though he likes cats very much〉, Kenji is allergic 〈to them〉.

猫が大好きだけれど、ケンジは猫アレルギーだ。

allérgic to A ㊦「Aに対してアレルギーがある」

point 「けれども彼は猫が大好きで…」は典型的な誤訳です。when SV を「…とき」と訳すように、though[although] SV は「…だけれども」と訳します。

例文
5

〈While I am into SKE48〉, my wife is a fan (of Nogizaka46).

私が SKE48 に熱中している一方で、妻は乃木坂 46 のファンだ。

be into A ㊦「Aに熱中している」 fan ㊦「ファン」

point 接続詞 while には「…している間に」の意味と「…である一方で」の意味があります。

その他の重要な接続詞

as SV	…とき、ので、ように、つれて	even if SV	たとえ…でも
until [till] SV	…まで(ずっと)	after SV	…した後に、後で
before SV	…する前に	since SV	…して以来、…ので

EXERCISES A

副詞節を〈 〉でくくり、英文を日本語に訳しましょう。

1

- (1) When I was a college student, I majored in history.
.....
- (2) If the weather improves tomorrow, we can walk our dogs.
.....
- (3) I left school early yesterday because I had a slight fever.
.....
- (4) Though he likes cats very much, Kenji is allergic to them.
.....
- (5) While I am into SKE48, my wife is a fan of Nogizaka46.
.....

2

- (1) When the teacher entered the classroom, we were discussing Socrates.
.....
- (2) Your teacher will scold you severely if you are late for school.
.....
- (3) I took the subway to the airport because the traffic was heavy.
.....
- (4) Although he tried hard, the scientist couldn't find a solution to the problem.
.....
- (5) My smartphone rang while I was taking a bath.
.....

-
- (1) énter 動「～に入る」 clássroom 名「教室」 discúss 動「～について話し合う、議論する」
Sócrates 名「ソクラテス（哲学者）」
- (2) scold 動「～を叱る」 sevérly 副「厳しく」 late 副「遅れて」
- (3) súbway 名「地下鉄」 áirport 名「空港」 tráffic 名「交通量」
- (4) try 動「努力する」 hard 副「懸命に」 scientíst 名「科学者」 solútion 名「解決策」 problém 名「問題」
- (5) smártphone 名「スマートフォン」 ring 動「鳴る（ring-rang-rung）」 take a bath 動「入浴する」

第 1 講 前置詞＋名詞 ①

(問題 p.12 ~ 15)

EXERCISES A

- 1 (1) Sayaka lives in Nagoya with two cats.
サヤカは 2 匹の猫と一緒に名古屋に住んでいる。
- (2) In this museum, we can learn about American culture.
この博物館で、私たちはアメリカ文化について学ぶことができる。
- (3) Sakura is very interested in world soccer.
サクラは世界のサッカーにとっても興味を持っている。
- (4) This website provides me with useful information.
このウェブサイトは私に有益な情報を提供してくれる。
- (5) Himeka parked her bike in front of the café.
ヒメカはカフェの前に(彼女の)自転車をとめた。

- 2 (1) We study at the local library after school.
私たちは放課後、(その) 地元の図書館で勉強する [勉強している]。

✳ study は動詞の現在時制で、ここでは「現在の習慣的・反復的行為」を表しています。習慣のニュアンスを強めるために「勉強している」と訳すのもあります。

- (2) After lunch, Takao goes to the gym for muscle training.
昼食後、タカオは筋トレのためにジムに通う [通っている]。

✳ muscle training は bird watching 「野鳥観察」などと同様、V + O → O + (V)ing という変形からできた表現です。

- (3) Everyone is proud of your effort and sure of your future success.
誰もがあなたの努力を誇りに思い、将来の成功を確信している。

✳ 等位接続詞 and は、補語のはたらきをしている形容詞 proud と sure をつないでいます。

- (4) You must arrive at the theater by noon.
(あなたは) 正午までに(その) 劇場に到着しなければならない。

✳ 日本語で「あなた」と言うことはあまりないので、you は訳さないほうが自然になることが多いです。

- (5) Thanks to your support, I was able to pass the exam.
あなたの支援のおかげで、(私は) (その) 試験に合格することができた。

✳ 定冠詞 the には「その」以外に「この」などの訳語もありますが、訳さないほうが自然になることもあります。なんでもかんでも「その」と訳すのはやめてください。

【生徒の答案】「あなたのサポートのおかげで私は試験にパスできた」

解説 カタカナ語を和訳でどこまで使っているかは判断が難しい問題ですが、厳密さが要求される大学入試ではできるだけ避けるようにしたほうがいいでしょう。「日本語での表現がどうしても思い浮かばなければカタカナ語を使う」くらいの姿勢がいいと思います。